

6月7日(月)

神を見た者はいない

聖書朗読 Iヨハネ 4:7~21

それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。

ヨハネ 13:35

私はずっとヨハネ第1の手紙の4章11節から12節に心を捉えられてきました。ヨハネは2つの節で3つの事を述べています。1つ目は、「神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきです」、そして3つ目は、「もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにおられます」という点です。この2つの内容の関連性は捉えることが容易ですが、その間の「誰も神を見た者はありません」はどうでしょう。突然現れ脈絡がないように思えますが、ヨハネがここで言いたかったことは私の理解としては、「私たちは直接神様を見たことはない。けれども直接でなくとも神様を見ている。つまり、私たちが互いに愛し合うとき、その愛の行為に映し出された神様の御姿を見ているのだ」という事だと思います。

ある未亡人の方で、自分の限られた収入の中から余分に食べ物を買って、家に閉じこもった人に食事を届けていた方がおられました。その姿に神様の御姿が映し出されているのを見ました。また、ある夫婦のことですが、不倫をし、悔い改めようとしている夫を妻が赦し、その後2人の関係を修復しようと努めている夫婦の姿勢にも神様の御姿を見ました。さらに、ここ数年、毎週日曜日に足の悪い義理の母親が教会に出入りするのを支えている男性の姿に、神様を見えています。

あなたは一番最近で、神様の御姿が映し出されているのを見たのはいつでしょう。

讃美歌 325

祈り 親愛なるお父様。今週一週間も、私たちの行いのすべてに、あなた様の御姿が映し出されていることを周囲の人にはっきりと見させてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ティム・ウィリス

カリフォルニア州マリブ

今日の日

2021年6月7日~6月13日

翻訳 藤岡 伸子

編集 野口恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

6月8日(火)

審判と信仰

聖書朗読 Iヨハネ 4:13~18

私たちは、信仰により、御霊によって、義をいただく望みを熱心に抱いているのです。
ガラテヤ 5:5

最後の審判が近づくとき私たちはどれほど確信があるでしょうか。教会の牧師の説教で最近この点について語られたのですが、私は自分の信仰を別の視点から考えるよう試されました。私たちは各々自分の信仰を持つべきです。自分のために誰かに信仰をもってもらう事は出来ません。私たちは義が信仰から来ることを知っています。私の信仰は自分自身にとって大切であり、日々信仰において成長し強められたいと思っています。あなたもそうではないでしょうか。

教会で取り上げられたこの説教は「審判と信仰」という内容で、私はこれまで考えたことのない点について考えさせられました。私の信仰はどれほど強い（あるいは弱い）だろうか、また、私が信仰を持つのは、ただ審判を恐れているからなのだろうかということです。

私たちは、私たちにに対する神様の御愛を信じていますから、神様が私たちに審判を下すその日を恐れずに生きていくことができます。クリスチャンである私たちは、1日たりとも審判を恐れて過ごすことはありません。イエス様のご自身に従う者たちへの守りは完全なものと考えると、サタンの攻撃など取るに足りないものです。神様の審判は究極的なものです。

神様の私たちに向けられた完全な御愛によって、私たちの審判への恐れは消え去るでしょう。

讃美歌 328

祈り 親愛なるお父様、御霊により私たちの信仰が成長させられることを感謝します。どうか私たちが、あなた様に愛されていることを覚えて日々あなた様の光のうちに歩み、審判が下る日を、恐れを覚えることなく迎えさせてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

W・スコット・ウッドリー
テネシー州 キングストン

6月9日(水)

もはやない

聖書朗読 黙示 21:1~8

わたしは、すべてを新しくする。 黙示 21:5

「陸軍長官から、残念ながらお伝えしなければならないことがあります。あなたの息子さんは昨日のオペレーションでなくなりました。」

死傷者通知官として、リチャード・シーミオン陸軍大尉は幾度もこうしたメッセージを伝えるという任務を果たさなければなりません。兵士の死が伝えられると、彼は何時間もかけてその遺族を探し出し、その悲痛な知らせを届けなければなりません。

兄弟が戦争の犠牲者であったジャニーという女性は、学校の終業時に書いたエッセーの終わりにこう記しています。「私の考えるパーフェクトな世界。それは悪い知らせを持ってくる人はひとりもおらず、そして、誰ひとり悪い知らせを伝える人にならなくてよい世界。」

天国は「もはや…ない」ところです。黙示録21章4節によれば、天国では次のような名前の通りを見つけるかもしれません。

もはや悲しみもない
もはや涙もない
もはや痛みもない
もはや死もない

福音により、天国にはもはや悪い知らせはないでしょう。

讃美歌 488

祈り いのちの主よ、あなた様のご臨在のうちに立ち止まって、落胆のない未来のことを思います。天国についてのあなた様のご契約を信じます。
イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョー・バーネット
テキサス州 ヒューストン

6月10日(木)

深い祈り

聖書朗読 詩篇 1

どうか、あなたのしもべへのみことばを思い出してください。

あなたは私がそれを待ち望むようになさいました。 詩篇 119:49

日々この今日の力を読むと、私は詩篇に思いを向けさせられます。詩篇は150篇から成る、神様への祈りをまとめたものです。詩篇を読むことが主への祈りとなります。私たちは祈りを捧げることによって、神様との交わりがより現実的で真実なものへと深められていきます。

インスタグラムは、どこに的を絞ったらよいのか苦労します。私たちは、インターネットの情報から、Eメール、インスタグラムなど、じっくり時間を掛けずに次から次へと移っていきませんが、詩篇はじっくりと時間を掛け内容を完結させ、時にはささやくように、時には叫ぶようにそのメッセージを伝えるものであり、内容を深く掘り下げて深く思い巡らすものです。詩篇第1篇は、神様のみことばの糧に深く根をおろすことを重要な点であるとしています。

あなたは、1本の木、例えば榿の木、ヤシの木、桜の木を半日でも座ってじっくり眺めることがあったでしょうか。木は概念ではなく、実際に存在し触れることの出来るものです。写真に収めることもできます。こうした木は私たちに、自分たちのいのちが神様の目に見えない糧に深く根を下ろしていくことを教えてくれています。かつて神の民は、異国の地で迷い苦しみながらも、神様に根差した者として成長してきました。彼らは、神様の真実と神様の時に深く根ざし、神様のうちに住むことに恵み（満足し他に何も望まないこと）を覚えていきました。この親しみある詩篇の祈りを声に出して捧げましょう。2度、3度とゆっくり声に出してみよう。そして、誰かに「恵まれた1日を」と声をかけられたら、こう応えましょう。「有難う。きっと恵まれた1日となると思います」と。

讃美歌 308

祈り 父であり、友でおられるお方。あなたとあなたのみことばに忍耐をもって心を向けたいと思います。あなたに心を向ける者たちと、あなたについて語り合いたいと願います。あなたのみこころを深く思います。これらの歌によってあなたを覚える恵みを感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

スティーブン・S・レムリー
共同編集者

6月11日(金)

高いところから全体を見渡す（鳥瞰的視野）

聖書朗読 詩篇 2

どうか、世々の王、すなわち、滅びることもなく、目に見えない唯一の神に、誉と栄とが世々限りなくありますように。アーメン。 I テモテ 1:17

王の即位の詩篇として知られる詩篇第2篇は、神様に油注がれた者（ダビデ王とイエス・キリスト）に逆らう地の王たちの策略を表わしています。地上にある神の民たちの目には、この世で偉大とされる卑劣な支配者が勝利を収めるように見えたが、神様の目には、邪悪な策略は実に滑稽であり、神様を出し抜こうとする王たちの計らいは、神様のように高いところから全体を見渡せるお方には極めて愚かなものでした。

このことは、子供が暗い階段を降りていくのに、階下で親が待っている時でさえ、恐れを抱く光景を思わせませう。そのような時の子供の恐れには、親が忠実に守ってくれるという視点が欠けています。その子供にはただ暗闇の中にある階段しか見えておらず、階下で親が待っているという事実は見えていません。全体を見渡す目が欠けているのです。

箴言31には、「しっかりした妻」は「微笑みながら後の日を待つ」（25節）とあります。彼女には物事全体を見渡せる俯瞰的な視点があります。そして日々の悩みや試練は、自分が感じているほど大変なものではないと捉えています。彼女は、神様が結果について責任を負ってくださることを確信しており、彼女にとって良いことを必ず成してくださることを知っているのです。

私たちに、将来自分に何が起こるかは確信できません。しかし、私たちが物事の結果を支配しておられるお方が誰なのかを確信できるとき、これからの将来を微笑みながら待つことができます。救い主はこの世に來られました。そして再び来てくださいます。このことは私たちに、現実であり、先にある将来を見渡す目をもって見ることの出来るものなのです。

讃美歌 303

祈り 全宇宙の王、造り主、お与えになるお方。私は自分の置かれた状況に喜びを感じたり嬉しく思ったりすることが出来ずにいます。あなたのみちからとあなたの目に信頼することを忘れてしまいます。それでもあなたは忍耐をもって赦してくださることを感謝します。良いことが成されることを信じます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

エミリー・Y・レムリー
共同編集者

6月12日(土)

なすべき選択

聖書朗読 詩篇 1：1～3

その人は、何をしても栄える。

詩篇 1：3

私はなすべき選択に慎重な注意を払うよりも、この詩篇に記されるような物事の結果に思いが先走ってしまう傾向にあります。物事の前にはまず成すべき選択があり、そうした選択の時は頻繁にやってくるものです。私は砂漠地帯で干ばつに悩まされるテキサス州西部で子供時代を過ごしましたが、そこでは常に実を实らせその葉が常に青々としている木がどれほど貴重なものか、それは決しておおげさな話ではないのです。

けれども、豊かに実をつけ、長持ちする木、そして魅力的で手に入れたいと思わせるような話以前に、なすべき選択があります。それは、この詩篇に記された2人の選択のいずれかということです。ひとは、神様のみことばを喜んで受け入れる人、もうひとはこの世のことばややり方を喜ぶ人です。このような対比がなされた人物が聖書の他の箇所にも記されています。カインとアベル、ヤコブとエサウ、そしてダビデとサウルです。放蕩息子と兄のお話もあります。それぞれ二者の間には2つの選択があり、そして2つのさだめがあります。

選択は慎重にするようにしましょう。あなたは、将来豊かに実を实らせる木と、脱穀された後に風で吹き飛ばされてしまうようなもみ殻とどちらになるでしょう。

讃美歌 274

祈り 主よ。正しい選択をする機会を私たちに与えてくださり感謝します。その選択に伴う良いものを約束して下さり感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

クリス・フリッツェル
テキサス州 グランバリー

6月13日(日)

義の道

聖書朗読 詩篇 1：4～6

幸いなことよ。…その人は主の教えを喜びとし、昼も夜もその教えを口ずさむ。

詩篇 1：1～2

ラビの教えに、心は邪悪と義に向かう性質がともに存在する場所であるということがあります。端的に言うなら、詩篇第1篇に記された豊かな比喩表現にあるように、義の道は栄えの道であり、邪悪な道はその反対であって、神様との永遠の交わりという希望もなく最終的には滅びの道ということです。

申命記6章5節と創世記6章5節には、人間のこうした二つの性質が鮮明に記されています。「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」(申命記6：5)、「主は、地上に人の悪が増大し、その心に計ることがみな、いつも悪いことにだけに傾くのをご覧になった」(創世記6：5)とあります。義の道と悪の道は元来正反対のものですが、私たちはいずれにも傾く傾向を持っています。神様への私たちの思いは、神様のみことばに心を向けることによって養われます。

ここで明らかなのは、私たちには選択肢があるということです。イエス様がお与えになるもの、そして、その犠牲によって、私たちには罪からの永遠の開放と赦しという選びがあるのです。ローマ8章1節には、「キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません」とありますが、私たちはその道を選択しましょう。

讃美歌 339

祈り 私の語りことばと心に思うことが、私の岩、贖い主なる主よ、あなた様に受け入れていただけるものとしてください。

私たちの救い主イエス様のお名前によって。アーメン。

クレイグ・ボーマン
ミシガン州 ローチェスター